

兵庫県保険医協会北阪神支部・第30回総会記念講演

地球温暖化と異常気象

市民公開
入場無料

後援 神戸新聞、宝塚市

季節外れの台風や豪雨等、これまでなかったような異常気象が頻発し、地球温暖化の影響が言われています。温暖化によりどのようなリスクが生じるのか? 気候変動に関する政府間パネル第5次評価報告書を執筆され、温暖化に関わる数々の著書のある江守先生にわかりやすくお話いただきます。

日時 **10月4日(日)** 14時30分～16時30分

会場 **伊丹市立図書館ことば蔵** 地下多目的室1

講師 **国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター**

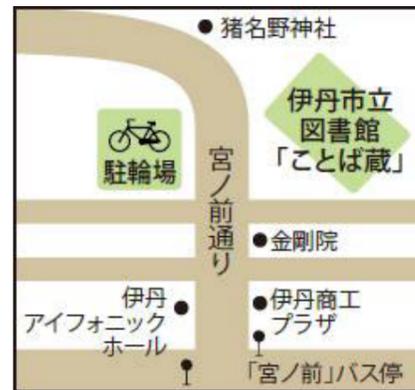
気候変動リスク評価研究室長 **江守 正多**先生

定員 100人



国連気候変動枠組条約における国際交渉では、産業化前を基準に世界の平均気温上昇を2℃以内に抑えるという目標が掲げられています。しかし、新しく発表されたIPCCの第5次評価報告書によれば、この目標を達成するためには、世界の二酸化炭素排出量をできるだけ速やかに減少に転じさせ、今世紀末を目途にゼロに近づけていかねばなりません。

温暖化の進行は人間社会や生態系にリスクをもたらしますが、徹底的な排出削減対策も社会経済に機会とともにリスクをもたらします。そのようなリスクの全体像には大きな不確実性があると同時に、リスクの発現の仕方は国、地域、世代や様々な社会属性によって異なります。この状況に私たちはどう向き合ったらよいのか、リスク管理の観点から考えます。【江守 記】



※阪急・JR伊丹駅より徒歩約10分。近隣の有料駐車場をご利用ください。

講師ご略歴 1970年神奈川県生まれ。東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。97年より国立環境研究所に勤務。2006年より国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長、11年より室名変更のため気候変動リスク評価研究室長。13年より地球温暖化研究プログラム総括。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル第5次評価報告書主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」等。2012年度日本気象学会堀内賞受賞

お問い合わせは、TEL: 078-393-1807 小西・横山・小川まで

(切り取らずにご返信ください) 【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

- 総会議事(伊丹市立図書館ことば蔵地下多目的室2 13:30～)に参加します ()人
- 記念講演(伊丹市立図書館ことば蔵地下多目的室1 14:30～)に参加します ()人
- 懇親会(ブルワリービレッジ長寿蔵 17:00～)に参加します ()人

地区 _____ 医療機関名 _____

氏名 _____

TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2015年 9月5日号 No.251

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

医療安全管理研修会を開催

“人は誰でも間違える”

外来の医療安全管理と院内感染対策テーマに



分かりやすいスライドを用いて医療安全対策を語る前田氏

北阪神支部は7月18日、第7回医療安全管理研修会を伊丹市立図書館ことば蔵で開催し、医師・歯科医師・スタッフら38人が参加した。市立伊丹病院の医療安全管理室副主幹の前田志真子氏が「外来における医療安全管理」について、感染管理認定看護師の岸美紀子が「外来に必要な感染対策」について、それぞれ講演した。

前田氏は、「人は誰でも間違えるもの」と強調し、うっかりミスを引き起こすものとして、知覚・認知の失敗、動作の失敗、記憶の失敗、注意の特性の四つの失敗があるとした。

そして、イラストを用いたクイズや折り紙などを通じて、人間の知覚や認識のあいまいさについて参加者に実感させるとともに、失敗を防ぐためには、ただ「注意するように」と言うだけでは意味がなく、指差呼称やチェックリスト、システムの改善など具体的な対策が求められるとした。

岸氏は、院内感染対策の基本として、手指衛生や咳エチケットなどについて説明するとともに、MERSや結核、インフルエンザなどの感染症の特性や感染対策について解説。

その後、ブラックライトを用いて、吐しゃ物がどの辺りまで飛散するのか、処理にあたって気をつけるべきことは何かなどを、実践をまじえながら解説した。



岸氏は外来における感染対策のポイントを解説した

(2面に参加者の感想を掲載)

(1面からのつづき)

医療安全管理対策研修会 参加者の声

〈医療安全管理について〉

・外来での医療安全管理でも病棟でも基本的なものは一緒だと思いました。うっかりミスや、知覚認知の失敗など、日ごろ思い当たるところがあったので、対策について学べました。



吐瀉物に模した蛍光塗料を含んだ物体で、汚物処理を学んだ

学び合いたい内容でした。指さし呼称していきたいと思いました。

・外来では短い時間で相手の話を聞き理解しなければならないので、ついつい看護師の立場で一方的に話していることや、相手の理解を確認せず説明していないか、再度ふり返りの良い機会になった。ありがとうございました。

・病棟でもそうですが、外来では本当にたくさんの患者様が毎日来られます。お話していただいた中で最も感じたのは、“慣れてはいけないな”ということです。どの作業を行うにも慣れや感覚で行うのではなく、潜んでいる危険もあるということを入念に入れて行っていこうと思います。患者様の話されることも“実はこういう思いがある”ということも考えながら聴き接していこうと思います。

〈感染対策について〉

・私は事務なので汚れた物等をさわることがないですが、受付にとっては咳エチケットを啓発するのが大切だと改めて思いました。咳エチケットポスターもはり、マスクをするようお願いしたりしていますが、残念ながらあまり浸透していません。(咳がひどい人に限ってマスクをされない方が多いです)ご自分の身を守るため、他の方のためにもうながしていこうと思いました。他の伝染病のため、手指衛生も大切だと改めて実感しました。実技とても勉強になりました。

・実践することで、より吐しゃ物の処理方法が学べてよかったです。外来でも参考にしていきたいです。

・汚物処理についての実技がわかりやすかったです。想像以上に、汚染範囲があることに驚きました。

・手袋、エプロンなどの着脱、あたりまえのことですが、忘れがちな基本的なことなので、わかりやすく書かれていたので、伝達講習していきたいと思えます。汚染マスクの実習はとても興味深かったです。ありがとうございました。

・季節毎に必ず流行する感染症があるので、自らが感染媒体にならないように、感染予防を徹底したいと思えます。個人でなく病院全体で取り組みます。

・大変わかりやすい内容で参考になりました。もう少し長い時間、お話を聞かせていただきたかったです。今後の医療安全に役立てるために伝達講習したいと思う内容でした。

・最近インシデントが増えているので、スタッフの皆で

兵庫県保険医協会

評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

兵庫県保険医協会 理事長 西山裕康

協会規約第12条の2及び(細則)協会役員等の選出規定の第3条の2および第9条の1により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

【役職と定数】

評議員 7名

予備評議員 4名

兵庫県保険医協会規約 第18条

「評議員は、各支部または歯科部会を代表し、会員の意見を評議員会に反映するとともに、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。」

【任期】 2年

【改選日】 10月4日(日) 北阪神支部第30回支部総会(会場・伊丹市立図書館ことば蔵)

【立候補日時締切】

9月27日(日)正午 協会事務局(神戸)必着

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。



第336回幹事会だより

8月6日(木)伊丹市立産業・情報センター会議室B 参加 8人

◆北阪神支部の会員数と組織率

7/28現在 医科331人(73%)、歯科178人(55%)

◆医療をめぐる情勢と運動対策

①朝日新聞が、医療・介護総合法により8月から介護保険のサービス利用料が引き上がることや施設の食費や部屋代への補足給付に資産要件が加わること、要支援者向けサービスが地方自治体に移管されることなどを解説

②宝塚市の中川市長は、安全保障関連法案が衆議院で可決されたことを受け、市の広報誌に「断じて容認できない」とメッセージを掲載

◆当面の支部活動

・10月4日(日)第30回総会・記念講演(4面に案内)

お問い合わせはTEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで